

第4学年 社会科学学習指導案

日 時 令和2年7月16日(木)



1 小単元名 「 住みよいくらしをつくる ～水はどこから～」

2 小単元の目標

- ・自分たちが使う水道水の用途や量、送られてくる経路、水源を確保するための取組などを具体的に調べ、自分たちの暮らしと水道水が、密接に結びついていることや、水道事業が、広い地域の協力と人々の努力によって、計画的に行われていることを理解し、自分自身の水の使い方について考える。

3 小単元の評価規準

観点 評価	ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力等	ウ 主体的に学習に取り組む態度
単元の 評価規準	①水道水が送られてくる仕組みを正しく理解している。 ②水道水を安定して供給するために、東京都を超えて他地域が協力し、計画的な取組がなされていることや、供給に関わる人々の工夫や努力について理解している。 ③地図やイラスト、統計などを読み取り、水道水の経路や浄水場の働き、水道水の使用量や費用の変化を的確に捉えている。	①水不足の国や地域の水の使用事情と、自分たちが使用している水の使用状況を比べて、実情の違いから、疑問に感じたことを基に、学習問題と予想を考え、適切に表現している。 ②供給に関わる人々の工夫や努力、苦勞、思いについて理解したことから、節水が必要である理由や、節水のために自分ができることを考え、適切に表現している。	①水不足の国の実情を基に、自分の水使用の実態を比べて考えようとしている。 ②自分たちの使う水道水が、きれいに、たくさん届くための仕組みや経路に関心をもち、意欲的に調べようとしている。 ③節水など、より良い水の使い方について、自分事として捉え、積極的に取り組もうとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本小単元は、学習指導要領 第4学年の下記の内容を踏まえて設定した。

(2) 人々の健康や生活環境を支える事業について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現すること。

(2) 教材観

本小単元では、生活に必要な水道水を確保するために、水道事業が広い地域の協力と人々の努力によって計画的に行われ、使った水は適切に処理されていることにより、人々は健康で快適に生活することができるということを捉えられるようにしていく。そのために、水道管（給水管・配水管）、給水所、浄水場、ダム、水道水源林、下水処理施設について取り上げ、調べていく。

水道管では、給水管や配水管を守る人々が、深夜に水漏れの検査を行ったり、震災に強い水道管を完備したりして、日夜、工夫や努力してくれていることにより、水道水の安定供給が支えられていることを捉えていく。

給水所では、浄水場から送られてきた水を各家庭に送り出すために、水を送り出すためのポンプを常に健全な状態に保つことや、他の給水所と連携していることを中心に、人々の工夫や努力を取り上げ、役割について捉えていく。

浄水場では、多くの工程を経て、川やダムなどから取水した水をきれいにし、安全でおいしい水にして飲むことができるようにする施設であることを理解し、そこで働く人々は、安全でおいしい水を作るために、365日、施設を動かすために協力し、工夫や努力をしていることを捉えられるようにしていく。

ダムでは、ダムやそこで働く人々によって、川の水を貯めたり、流したりして、水量（貯水量・流量）を調節したり、ダムや周りに異常がないか調査をしたりして、水を供給している施設であることや、放水する際に落ちる水の勢いを利用して発電していることを理解し、水を安定的に確保できることを捉えていく。また、ダム建設のために、先祖代々住んできた土地を離れる決心をした人々がいたことや、工事の際に命を亡くした人たちがいたという事実を捉え、ダム建設のために携わった人々の思いについて捉えられるようにする。

水道水源林では、雨を土の中にたくわえる役割や、土砂が流れ出すのを防ぐ役割、そして、少しずつ流れ出して水をきれいにする役割があることを理解する。また、天然林と人工林があり、人工林は120年も前から植樹し、森を育て保つために、様々な人たちが協力して手入れをしていることや、シカの被害から守るために、日々、調査や対策を行い、努力や苦勞をして水道水の源である水源林を守っていることを捉える。

また、下水処理施設では、使った水が水再生センターで処理されてきれいになり、再利用されたり、川や海に流されたりすることや、水道水源林に降った雨から再び自分たちが使う水になるという、水のサイクルを捉えるようにする。

このように、水道水を確保するために、様々な施設があり、そこで行われている役割や工夫を理解し、それぞれで働く人々の努力や苦勞を捉えていくことで、各施設等の人々の思いについて考えることができるようにしていく。それらを踏まえて、自分たちの生活に必要な水道水の確保や、健康で快適に生活できることから、感謝の気持ちをもって使用することや、水を大切にするための取組を自分事として捉え、今の自分にできることを広く考え、意思決定できるようにする。

(3) 児童観

本学級の児童は、本小単元に入るまでに、東京都の様子について学習している。その際に、地図帳や東京都の副読本、補助教材などを用いて、意欲的に学習に取り組んだ。そして、調べたことから、東京都の地理的環境の概要について理解することができた。また、調べて気付いたことを少人数のグループや全体の場で伝え合い、情報を交流し、共有した。また、地図帳を使うことに興味をもち、すすんで情報を取り入れようとする行動がよく見られるようになってきた。

しかし、学校での学習の時間を十分に確保できない中での活動であり、資料の収集や活用の仕方を十分に体験することができていない。また、友達との関わりに制限があり、対話的な活動を十分に取り入れることができなかった。

本小単元の学習については、普段、自分たちが使用している水が、どのように供給されているのかという流れや仕組みについては、学校外での学習で既に知っている児童もいる。しかし、机上での知識にとどまり、実感を伴った理解をして児童が多いとは言えない。

清潔で安全な水を、安定して確保し、供給するために、どのような人が、どのようなことをしているのか、という疑問をもち、学習問題を設定し、追究していこうとする主体的な態度を持続して学習できるようにしたい。調べる過程では、教科書や東京都水道局からの資料、都や区の副読本などから抜粋した文書を活用し、ただ写すだけでなく、大切だと思う言葉や文章に線を引いたり、難しいと思った用語の意味を調べたりするなどの作業をしながら、考える基となる知識として、内容の意味を理解できるようにしたい。自分の考えをもつことが苦手な児童に対しては、資料の読み取りの段階で、作業の仕方や意味の補足など、個別に支援を行っていく。調べて分かったことや、分かったことから気付いたことや考えたことなどを、友達と情報交流して、考えを広げられるようにしたい。

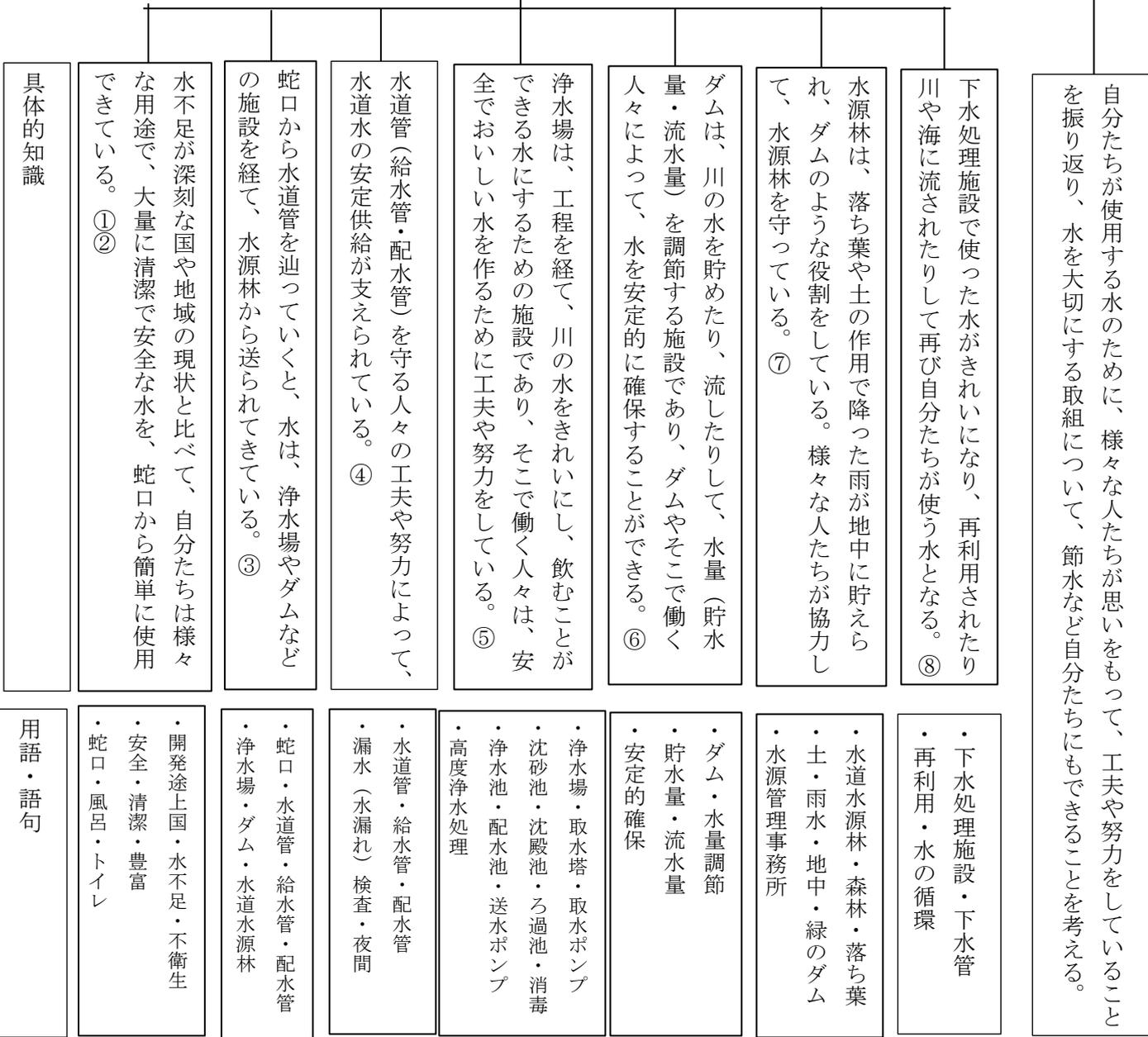
また、自分の考えを、理由をもって表現するということを、社会科の学習だけでなく、他の教科の学習時や学級会など、様々な活動の場面で意識的に行うようにしている。そうすることで、表現することが、自分の考えたことや根拠に裏付けられた説得力のある表現として、相手に伝わるものになるため、日常的に取り入れるようにしている。

自分たちが使用している、多くの清潔で安全な水を、安定して確保し、供給するために従事している人々の工夫や思い、苦労や努力などから、実感を伴う理解ができるようにしたい。そして、従事している人々の活動や思いから、水を大切にするための取組や、感謝の気持ちをもって使用することを、自分事としてできるようにしたい。

5 知識の構造図

学習指導要領との関連	<p>(2) 人々の健康や生活環境を支える事業について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。</p> <p>(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水、電気、ガスの供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現すること。</p>
------------	---

中心概念	<p>生活に必要な水道水を確保するために、水道事業が広い地域の協力と人々の努力によって計画的に行われ、使った水は適切に処理されていることにより、人々は健康で快適に生活することができる。⑨</p>
------	---



6 研究主題との関連

(1) 中学年分科会が考える深い学び

今年度の研究主題「深い学びを実現する授業の創造」に対して、中学年部会では、深い学びについて「既習事項と新しい知識を結び付けて理解したり、物事や状況を比較させながら自分の考えをもったり、問題意識をもって解決策を考えたりすることができる姿」と設定した。

(2) 本小单元における深い学びの姿

- 水が、どのような過程で、どのように工夫されて、自分たちが使えるようになっているかを理解する過程で、それぞれの場では、そこに従事する人の営みが必ずあることや、その人々の工夫や努力、思いが入っていることを理解している姿。
- 学習過程の終末に、自分は今後、水とどのように関わって行こうか、学習してきたことを根拠に考える。そして、友達の考えを聞く意見交流を通して、より良い行動を、根拠をもって選択できる姿。

(3) 深い学びに迫るための具体的な手立て

①単元構成の工夫

- ・単元を貫く問題意識をもつ「つかむ段階」の工夫

第1時では、自分たち1人が1日に使用している水の量について予想し、1日平均約219Lもの水を使用していることを知ることで、予想以上に多くの水を使用していることを認識できるようにする。また、約1/10の量である2Lペットボトル10本を持つという体験活動を取り入れることで、多くの水を使用していることを体感できるようにする。さらに、水不足の国や地域の事情が分かる動画を見て、自分の実情と比較することで、「どのようにしてきれいで安全な水を飲めるのか。」、「どのようにして多くの水を使えるのか。」、「どのようにして簡単に飲めるのか。」、という視点の問題意識をもつことができるようにし、単元を貫く学習問題へとつなげていけると考えた。

- ・「いかす」段階を位置付けた学習過程の設定

「つかむ」段階、「調べる」段階、「まとめる」段階での学習内容を踏まえて、学習過程に「いかす」段階を位置付ける。「いかす」段階では、自分と水との関わりについて考える時間を設ける。自分が、今後どのように水と関わっていくのかを考え、意思決定することで、4年生の今なりに、これからの社会の一員として、自分の在り方を考えたり、社会への参画意識を高めることにつなげられたりすることができると考え、「いかす」段階を設定する。

②対話の工夫

- ・資料との対話の工夫

本小单元では、「調べる段階」で、毎時間、水を供給するために従事している様々な立場の人の姿を取り上げる。自分たちが水を快適に不自由なく飲むことができるようしてくれている人々の工夫や苦勞、努力している姿や、従事する思いについて、文書や映像など様々な資料と対話していくことで、子供に人の営みを実感できるようにする。

- ・2段階の「調べる」活動の設定

「調べる」段階を、前半の調べると、後半の調べるに分けて設定する。「前半の調べる」では、資料から事実を捉える。「後半の調べる」では、事実を基に考えたり、その考えを対話的に交流したりする。後半の内容の調べる活動を設定することで、対話的活動を促し、確かな理解ができるようになる。

③④思考ツールの活用・リフレクション

・小単元を関連付ける表とリフレクション

毎回の振り返りを、単元を通して同一のワークシートの表に書くようにする。また、その表と、調べる段階で使用した資料を、ポートフォリオ形式で積み重ねていく。学習を経るに従って積み重ねられていく知り得た事実と振り返りの表や、使用した資料を見つめ直すことで、考え方や学び方の変容に気付いたり、「いかす段階」で意思決定する際の資料として活用したりする。そのことを通して、各時間で獲得した知識を活用したり、考えを応用したりするなど、これまでの時間を関連付けて考えることができると考えた。

・教科横断的な振り返りの視点

国語科・算数科・特別の教科道徳・学活（学級会）などの教科等と同じように、振り返りの視点を設ける。振り返りの視点は、大きく分けて2つ。1つ目は、どうしてそう思ったかという理由や根拠を示して考えを述べるようにする。2つ目は、自己を見つめる感覚を磨いていくために、気付いたことや思ったこと、考えたこと、同調したこと、自分の現状と対応策、更なる課題や目標などを書けるようにする。このように2つの視点で振り返りを教科横断的に積み重ねて書くことで深い学びに迫ることができると考えた。

⑤その他

・見方・考え方を働かせる教材の工夫

「位置や空間的な広がり」の視点、「時期や時間の経過」の視点、「事象や人々の相互関係」の視点のそれぞれの視点を意識し、教材化する。特に「調べる段階」では、「事象や人々の相互関係」を重視し、人の姿を比較・関連付けしながら資料提示することで深い学びに迫ることができると考えた。

7 小単元の指導計画と評価計画（全10時間扱い 本時10/10）

時	ねらい	児童の活動 ○主な学習活動 ・児童の反応	★資料 ○支援 ◇評価【 】()
つ か む	1 ・ 2 水不足の国や 地域の実態 と、自分たち の水の使用の 実態を比べ、 実情の違いに ついて関心を もつ。	<p>○2Lのペットボトルを提示した後、自分たちが1日に使っている水の量は、1人ペットボトル何本分で何Lか予想する。</p> <p>○実量は1日に1人平均約219Lで、ペットボトル約110本分であることを知り、110本のペットボトルの画像を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想と全然違ってそんなに使っていた。 ・何にそんなに使っているのかな。 <p>○重さを実感するために、約1/11の量である2Lのペットボトル10本を両手で持ち、重さを体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重すぎて持てない。 ・これよりもっと10倍ぐらいの水を使っているなんて想像できない。 <p>○水不足の国の事情が伝わる動画を見て、思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんな汚い水を飲むなんて信じられない。 ・水を飲んで死ぬなんてかわいそう。 ・あの重さの水を持って、片道で2km（シビックセンター2往復ぐらい）も歩くなんてできない。 <p>○動画や今日体験したことを含めて思ったことを書き、自分たちのことと対比させて考えたことを発表し、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水不足の国は、あんなに汚い水を飲むしなくて、死ぬなんてかわいそう。 ・自分たちは重たい水汲みをする国と違って、簡単に飲むことができている。 ・自分たちは、安全できれいな水を飲めている。 ・自分たちが飲んでいる水は、どのようにしてきれいで安全な水にしているのだろう。 	<p>★資料 ○支援</p> <p>◇評価【 】()</p> <p>★東京都水道局「一般家庭水利用実態調査（平成27年度調査）」</p> <p>★ペットボトル110本分の画像</p> <p>★ペットボトル40本</p> <p>★AC Japan（公益社団法人）やPlanInternationalJapanの動画の一部</p> <p>○映像内の水の状態や使用状況と、自分の生活での水の状態や使用の実情を対比させ、違いや対照的であることが実感できるようにする。</p> <p>○疑問に思ったことの中から、最終的に、日本や自分たちの視点から発言していることをピックアップして学習問題につなげられるようにする。</p> <p>◇水不足の国の実情を基に、自分の水使用の実態を比べて考えようとしている。【主】（発言・ノート）</p>
<p>わたしたちの水は、どうして、きれいで、安全で、たくさんあるのだろうか。</p>		<p>○今日の振り返りを書く。</p>	

	3	<p>自分たちはどのようにして水を得ているのか、学習問題に対する予想と、学習計画を立てる。</p>	<p>○学習問題に対する予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水をきれいにするところがある。 ・水を貯めておいて、水が少なくなったらそこから水を流すところがある。 <p>○「水道水がとどくまで」の図を見て、水が自分たちの家まで届くために関わっている場所や施設、設備について分かったことをもとに、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水管や配水管はどんな役割をしているのだろう。 ・給水所ではどんなことをしているのだろう。 ・浄水場ではどんなことをしているのだろう。 ・ダムはどんな役割をしているのだろう。 ・水道水源林はどんな役割があるのだろう。 <p>○今日の学習の振り返りを書く。</p>	<p>★水道水がとどくまで（「わたしたちのまち東京データ&ガイド」）</p> <p>○身近なところからイメージしやすいように、家から遡った順序で調べるようにする。</p> <p>◇自分たちが使用している水が、どのようにして使える水になっていくのか、予想して表現している。【思・判・表】（発言・ノート）</p>
調べる	4	<p>水道管（給水管・配給管）を守る人々の工夫や努力によって、水道水の安全供給が支えられていることを理解する。</p>	<p>○水道管（給水管や配水管）はどんな役割をしているのか、資料で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプで圧力をかけて水を送り、最後に家まで水が届く。 ・わたしたちが寝ている夜中にも、水漏れのための検査している。 <p>○給水所ではどんなことをしているのか、資料で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間によって使う水の量が違うので、水を送る量を調節している。 ・24時間体制で水の量を調整している。 <p>○調べて分かったことや思ったことを友達と意見交流し、考えを広げたり、共有したりする。</p> <p>○今日の学習の振り返りを書く。</p>	<p>《水道管について》</p> <p>★「わたしたちの水道」（東京都水道局）や教科書、「わたしたちの文京区」、「わたしたちの東京都」を参考に作成した文書資料</p> <p>★東京都水道局 HP の広報の写真・映像資料</p> <p>《給水所について》</p> <p>★「わたしたちの水道」や「東京の水道」・「本郷給水所」（東京都水道局）と取材したことを基に作成した文書資料</p> <p>○関わっている人の活動や努力に目を向けられるように資料を準備する。</p> <p>○書いたものを読むだけでなく、できるだけ自分の言葉で伝えることを促す。</p>

			◇水道管や給水所の役割や、その仕事に関わる人々の工夫や努力、思いを理解している。【知・技】(発言・ノート)
5	浄水場が、工程を経て、川の水を清潔で安全な水にして届けるための施設であることや、そのための工夫や努力について理解する。	<p>○浄水場では、どんなことをしているのか、資料で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すごく多くの工程で、水をきれいにしたり、安全に飲める水にしたりしている。 ・ きれいで安全な水と届けるために24時間体制で夜中も仕事をして管理している。 <p>○調べて分かったことや思ったことを友達と意見交流し、考えを広げたり、共有したりする。</p> <p>○今日の学習の振り返りを書く。</p>	<p>★「わたしたちの水道」や教科書、「わたしたちの文京区」、「わたしたちの東京都」、「朝霞浄水場のパンフレット」(東京都水道局)を参考に作成した文書資料</p> <p>○関わっている人の活動や努力に目を向けられるように資料を準備する。</p> <p>○書いたものを読むだけでなく、できるだけ自分の言葉で伝えることを促す。</p> <p>◇浄水所の役割や、その仕事に関わる人々の工夫や努力、思いを理解している。【知・技】(発言・ノート)</p>
6	ダムが、川の水を貯めたり流したりして水量を調節し、安定的に水を届けるための施設であることや、そこで働く人々の工夫や努力について理解する。	<p>○ダムには、どんな役割があるのか資料で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダムは、水を貯めておいて、量を調節し、わたしたちが水不足にならないように工夫されている。 ・ 24時間体制で管理して、水を守っている。 <p>○調べて分かったことや思ったことを友達と意見交流し、考えを広げたり、共有したりする。</p> <p>○今日の学習の振り返りを書く。</p>	<p>★「わたしたちの水道」や教科書、「わたしたちの文京区」、「わたしたちの東京都」、「ようこそ小河内ダムへ」(東京都水道局小河内貯水池管理事務所)パンフレット」を参考に作成した文書資料</p> <p>★写真・映像資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小河内ダムの様子 ・ 管理事務所の方の話 ・ ダム建設当時の様子 <p>○関わっている人の活動や努力に目を向けられるように資料を準備する。</p> <p>○書いたものを読むだけでなく、できるだけ自分</p>

			<p>の言葉で伝えることを促す。</p> <p>◇ダムの役割や、その仕事に関わる人々の工夫や努力、思いを理解している。【知・技】(発言・ノート)</p>
7	<p>水道水源林が、落ち葉や土の作用でダムのような役割をしていることや、様々な人たちの協力によって水源林が守られていることを理解する。</p>	<p>○水道水源林には、どんな役割があるのか、資料で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都だけではなく、離れた山梨県からもわたしたちの使っている水の素があった。 ・わたしたちが使う水のために、地元の人やボランティアの方が、工夫や苦勞をして森林を守ってくれている。 <p>○調べて分かったことや思ったことを友達と意見交流し、考えを広げたり、共有したりする。</p> <p>○今日の学習の振り返りを書く。</p>	<p>★「わたしたちの水道」や教科書、「わたしたちの文京区」、「わたしたちの東京都」、「水道水源林」(2種類)・「みんなで作る水源の森実施計画」パンフレット」を参考に作成した文書資料</p> <p>★写真・映像資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都水道局水源管理事務所・比留間さんの話 ・水道水源林の様子(天然林・人工林・シカ被害の様子など) <p>○関わっている人の活動や努力に目を向けられるように資料を準備する。</p> <p>○書いたものを読むだけでなく、自分の言葉で伝えることを促す。</p> <p>◇水道水源林の役割や、その仕事に関わる人々の工夫や努力、思いを理解している。【知・技】(発言・ノート)</p>
8	<p>下水処理施設により、使った水がきれいになり、川や海に流され、再び使える水となって戻ってくることを理解する。</p>	<p>○使った水が流れていく水再生センター(下水処理施設)について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいに処理された水は、トイレの水などに再利用されている。 ・水再生センターできれいにしてから川や海へ流して、蒸発して雲になってまた雨になる。 ・自分たちが汚した水は、きれいにするのにすごくたくさん使っている。 	<p>★「わたしたちの水道」や教科書、「わたしたちの文京区」、「わたしたちの東京都」、「みんなの下水道」(東京都下水道局)パンフレット」を参考に作成した文書資料</p>

			<p>○調べて分かったことや思ったことを友達と意見交流し、考えを広げたり、共有したりする。</p> <p>○今日の学習の振り返りを書く。</p>	<p>○関わっている人の活動や努力に目を向けられるように資料を準備する。</p> <p>○書いたものを読むだけでなく、できるだけ自分の言葉で伝えることを促す。</p> <p>◇水再生センター（下水処理施設）の役割や、その仕事に関わる人々の工夫や努力、思いを理解している。【知・技】（発言・ノート）</p>
まとめ	9	<p>生活に必要な水を確保するために、水道事業が、広い地域の人々との協力や努力によって計画的に行われ、そのお陰で、自分たちは、健康で快適に生活することができていることを理解する。</p>	<p>○自分たちの水は、どうして、きれいで、安全で、たくさんあるのか、これまでの学習を振り返って自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道水源林からダムや浄水場、給水所、水道管を通して、きれいで安心な水を使えるように、それぞれの場所で思ってもいない工夫がされていた。 ・水は、いろんな場所を通して、その度に多くの人たちが工夫や苦勞をして、届けられていた。 <p>○これまでの学習を振り返って書いた自分の考えを、小グループで意見交流する。</p> <p>○小グループの意見交流で出たことを、全体の場で意見交流して広げ、共有する。</p> <p>○学習してきたことから、自分たちが、きれいで安全な水をたくさん使うことができているのは、それぞれの場所で工夫され、様々な人たちが苦勞して思いをもって届けようとしていることを確認する。</p> <p>○今日の学習の振り返りを書く。</p>	<p>★これまでの学習ノート</p> <p>★これまで使用した文書資料</p> <p>○それぞれの場所に関わっている人に注目して書くことができるように、視点を人にも向けるように促す。</p> <p>○書いたものを読むだけでなく、できるだけ自分の言葉で伝えることを促す。</p> <p>◇様々な立場の人たちが工夫し、思いをもって、自分たちにきれいで安全な水をたくさん届けていることを、これまでの学習を振り返って自分の考えを書いている。【思・判・表】（発言・振り返りシート）</p>

<p>いかす</p>	<p>10</p>	<p>自分たちが使用している水のために、様々な人々が思いをもって工夫や努力をしていることを振り返ると同時に、水を大切にするために自分たちにもできることを考える。</p>	<p>○学習してきたことから、自分は水とどのように関わっていくか考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人たちが工夫や努力をして、きれいで安全な水を届けてくれているので、水を使う量を無駄に使わないようにする。 ・きれいで安全な水のために努力してくれている人たちのことを伝えて、水を大切に使う人を増やしたい。 ・自分も水道水源林での森林を守る活動に参加して、水を大切にするために役に立ちたい。 <p>○書いたことを友達と伝え合い、本当にできそうか、より良い取組はどれか、もっと良い取組はないか、小グループで意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かに、関わってくれている人たちの苦労や努力を伝えると、もっと水を大切にしようとする人が増えるかもしれない。 ・水道水源林まで行って活動するのは難しいから、やっぱり、まずは水を無駄に使わないようにする。 <p>○小グループで意見交流したことを、全体で共有し意見交流する。</p> <p>○意見交流したことを踏まえて友達の意見と比べ、自分は水とどのように関わっていくか、振り返りを書く。</p>	<p>○より良い取組について突き詰められるように、理由をはっきりさせて発言することを確認する。</p> <p>○書いたものを読むだけでなく、できるだけ自分の言葉で伝えることを促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★これまでの学習ノート ★これまで使用した文書資料 <p>◇自分ができる取組について、友達の意見と比べて考えて書いている。【思・判・表】(発言・振り返りシート)</p>
------------	-----------	--	--	--

8 本時の学習（10／10）

（1）本時のねらい

これまでの学習を振り返り、自分にとって本当にできそうな、水を大切にするための取組を考えることができる。

（2）本時の展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	★資料 ○支援 ◇評価【評価方法】
導入	<p>○学習してきたことを振り返り、自分たちが、きれいで安全な水をたくさん使うことができているのは、それぞれの場所で工夫され、様々な人たちが努力や苦勞し、思いをもって届けようとしていたことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道管から水が漏れていないか夜中に調査していた。 ・浄水場では、きれいな水にするために、24時間、たくさんのことをしていた。 ・ダムでも、24時間ずっと誰かがいて、水の量を確認していた。 ・水道水源林は、人工的に考えて植えたり、切ったりして、どんな日でも作業していた。 	<p>★これまでの学習ノート</p> <p>★これまで使用した文書資料</p> <p>○全員で確認し、共通事項として振り返ることができるようにする。</p>
展開	<p>○学習してきたことから、自分は、水とどのように関わっていくのか考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人たちが工夫や努力をして、きれいで安全な水を届けてくれているので、水を使う量を無駄に使わないようにする。 ・きれいで安全な水のために努力してくれている人たちのことを伝えて、水を大切に使う人を増やしたい。 ・森林を守るために、自分も水道水源林で木を植えたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>自分は、水とどのように関わっていくのか考えよう。</p> </div> <p>○書いたことを友達と伝え合い、本当にできそうか、より良い取組はどれか、もっと良い取組はないかなど、小グループで意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や学校で水を使うときに、少しでも無駄に使わないように節水したり、できるだけ汚れた水を出す量や回数を減らしたりする。 ・関わってくれている人たちの苦勞や努力を知らない人に伝えると、もっと水を大切にしようとする人が増えるかもしれない。 ・水道水源林まで行って活動するのは難しいから、やっぱり、まずは水を無駄に使わないようにする。 	<p>★これまでの学習ノート</p> <p>★これまで使用した文書資料</p> <p>○技術的な工夫だけでなく、関わる人の努力や苦勞、思いにも注目するよう助言する。</p> <p>★自分はどうか、考えて書いたシート</p> <p>○まず書いたことを伝え、その後、自分の考えの良さを説明したり、すすんで質問したりする。そして、友達の考えから、より良い取組を考える材料を広げたり、突き詰めて考えられたりできるように、理由をはっきりさせて発言することを確認する。</p>

	<p>○小グループで意見交流したことを、全体で共有し意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当に自分でできることなので、できるだけ汚れた水を出す量や回数を減らすことに気を付けて使う。 ・関わってくれている人たちの苦労や努力を知らない人に伝えると、もっと水を大切にしようとする人が増えるかもしれないから、ポスターなどを作る。 ・自分は、水源林まで行って手伝うのは無理だから、感謝して水を大切に使う。 	<p>○より良い取組について、友達の考えと比べ、突き詰めて考えられるように、理由をはっきりさせて発言することを確認する。</p> <p>○最終的にどうするか考える段階で、板書を見ながら振り返って考えられるように、発言したことを板書しておく。</p>
<p>終末</p>	<p>○意見交流したことを踏まえて友達の意見と比べ、最終的に、自分は水とどのように関わっていくのか、振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や学校で水を使うときに感謝して、少しでも無駄に使わないようにしたりできるだけ汚れた水を出す量や回数を減らしたりするように自分にできることをしていく。 ・関わってくれている人たちの苦労や努力を知らない人に伝えると、もっと水を大切にしようとする人が増えるかもしれないから、ポスターなどを作って校内に貼る。 ・水道水源林まで行って活動するのは難しいから、やっぱり、まずは節水して水を無駄に使わないようにする。 	<p>★これまでの学習ノート</p> <p>★これまで使用した文書資料</p> <p>○これまで学習してきたことと、今日友達と意見交流したことを総合して考えることを確認する。</p> <p>◇これまでの学習を振り返り、自分にとって本当にできそうな、水を大切にするための取組を考えることができる。【思・判・表】 (発言・振り返りシート)</p>

(3) 板書計画

7 / 16 (木)

<学習問題>

わたしたちの水は、どうして、
きれいで安全でたくさんあるのだろう。

自分は、水とどのように関わっていくのか考えよう。

- ・水道かん
(水道局の人)
- ・給水所
(本郷給水所の人)
- ・じょう水場
(じょう水場の人)
- ・ダム
(小河内ダムの人)
- ・水道水源林
(ひる間さん)
- ・下水道
(下水道局の人)

作業中の
人の写真

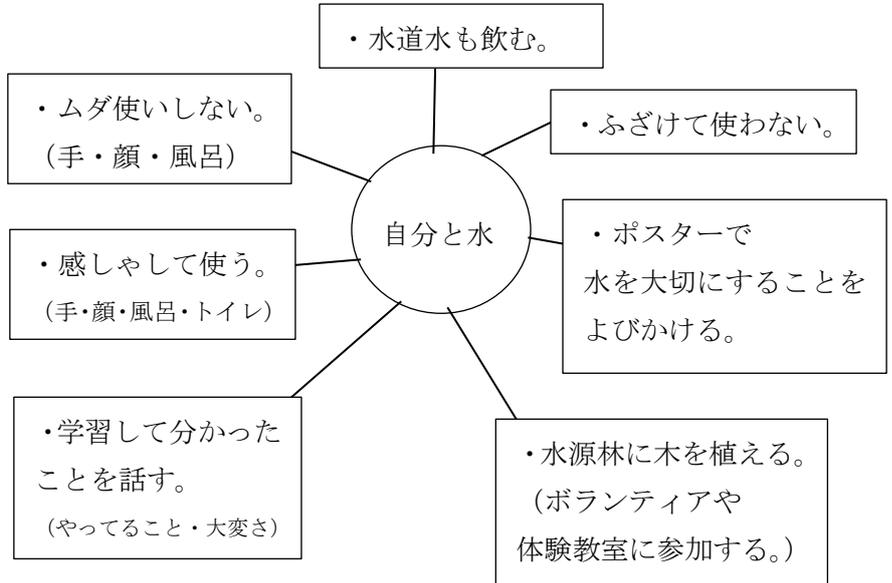
給水所の
写真

浄水場の
写真

ダムの
写真

作業中の
人の写真

作業中の
人の写真



<<学習のふり返しとして>> 自分はどうするか？>